



# 失敗を受け入れる からくり文化

日本のからくり人形は木製であり、精密さよりも動きの人らしさが追求され、対象は庶民<sup>しよみん</sup>でした。一方、西洋のからくり人形「オートマタ」は金属製で、リアルで正確な動きが追求され、対象は貴族でした。

日本の「段返り人形」はよく失敗もします。日本から西洋に伝わった段返り人形「タンブリング・ドール」は失敗しないように作られています。弓曳童子<sup>ゆみひきどうじ</sup>も失敗を演出の中に意図的に取り入れています。

失敗を受け入れ、親近感<sup>いだ</sup>を抱かせる日本のからくり文化。今日の日本人のロボットとの親和性は、こんなところから生まれたものかもしれません。



ジャケドロー オルガンを弾く貴婦人





## タンブリング・ドール

Tumbling doll

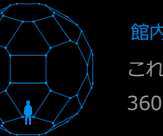
日本の段返り人形が西洋に伝わって作られたオートマタ(自動人形)のタンブリング・ドール(宙返り人形)です。日本の段返り人形と比べ、つま先を長くしたりして失敗しないように作ってあります。

18-19世紀  
18th-19th century  
個人所蔵

館内企画展アーカイブ

# バーチャル展示室

THE VIRTUAL  
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



**トヨタ産業技術記念館**

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.